

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	介護計画作成にあたり、本人を交えてのモニタリング、ご家族も交えての意見交換の時間が充分にとれていないため、ご家族の意見やアイデアを反映した介護計画となっていない。	介護計画を作成する上で、ご本人の思いや要望はもとより、ご家族の思いや希望を反映させつつ、現状に即した介護計画となるようにする。	モニタリングの際にご本人だけでなく、ご家族と話し合う場を設け思いを伺いながら、「いまの生活」に即した計画作成ができるよう努めていく。	1年
2	13	職員がスキルアップできるような研修への参加が充分にできていない。	さまざまな研修に多くの職員が参加できるようにし、個々の職員のスキルアップを図っていく。	事業所内外での研修、社内の他事業所との交換研修やグループホーム協会の交換研修を通じてた事業所・職種での実践研修など、より多くの研修機会を設定し、できるだけ多くの職員が参加できるようにしていく。	1年
3	34	利用者様の体調急変・事故等が発生した際の対応手順が定まっておらず、万一の際を想定した研修・訓練も不十分である。	「危機管理マニュアル」を作成し、体調の急変や事故等、万一の事態が発生した際でも冷静に対応できるよう全職員で指針を共有する。	マニュアルを作成し、会議や研修等で流れを確認する、消防等に依頼し救命法の研修を受ける、日常から訪問看護ステーションや主治医との連携を密に取るように努めていく。	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。